

雨にもまけず

作：宮沢賢治

雨にもまけず

風にもまけず

雪にも夏の暑さにもまけぬ

丈夫なからだをもち

欲はなく

決しておこらず

いつもしずかにわらっている

一日に玄米四合と

みそと少しの野菜をたべ

あらゆることを

じぶんをかんじょうに入れずに

よくみききしわかり

そしてわすれず

野原の松の林のかげの

小さなかやぶきの小屋にいて

東に病気のこどもあれば

行っかんびょうしてやり

西につかれた母あれば

行っそのいねのたばをおい

南に死にそうな人あれば

行っこわがらなくてもいいといい

北にけんかやそしょうがあれば

つまらないからやめろといい

ひでりのときはなみだをながし

さむさのなつはオロオロあるき

みんなにデクノボーとよばれ

ほめられもせず

くにもされず

そういうものに

わたしはなりたい